

機械創造コース

ロボットやエネルギー関連機器などの「ものづくり」に関わる専門知識と技術を習得します。コンピュータを援用した設計(3D-CAD)、3Dプリンタやマシニングセンタなどの工作機械を利用し、ものづくりの一連のプロセスについて体系的に学べます。少人数によるアクティブラーニングをとおして学びを深め、現在の機械産業の課題解決に活用できる創造的な能力を育てます。情報電子工学科との学科横断教育プログラムにより、情報通信技術(ICT)などの知識を身につけることも可能です。

学びの分野

CAD活用工学／機構学／ロボット工学／
材料強度学／機械創造実習

学生の「つくりたい!」 を実現する環境。 多くの体験を通じて 「ものづくり」を学ぶ

機械工学の基礎をしっかりと身につけた上で、CAD活用工学や機構学などの授業科目により、機械を設計・製造するために必要な専門知識と技術を学びます。体験を多く取り入れたカリキュラムで、ものづくりのトライ&エラーを重ね、機械の動作原理や構造を深く理解することができます。



➤ 将来的には

機械の設計・製造や保全等に携わり、ものづくりを中心とした現代の機械産業の諸問題や課題に取り組む、実行力のあるエンジニアとしての活躍が期待されます。

クローズアップ研究室

MEMSに関する研究

水野 純 教授[博士(工学)]

「No Pain, No Gain.」 ＝苦労なくして得るものなし。

「MEMS(メムス)」とは、携帯電話・自動車・ロボットなどに使われる、肉眼で見えないほど小さな機械です。新たな駆動原理の証明をめざし、研究しています。研究において「非常識」の中で工夫をすることで、オリジナリティを生み出せると考えていますが、結果を出すには努力が必要です。この努力とは、真剣に問題を見つめ、主体的に解決策を見つけ出す工夫をし、積極的に実行することです。みなさんには、その過程を身につけてほしいです。

